

見どころ案内

マツムラソウ (イワタバコ科)

石垣・西表島原産の多年草。日本で見る事ができるイワタバコ科の中でも非常に大きく色鮮やかな美しい花を咲かせます。水しぶきがかかるような環境を好みます。黄色い花を咲かせています。

ホトギス シノノメ (ユリ科)

最も一般的によく見かける園芸品種です。園内各所でホトギスが咲いており、ロックガーデンではツルタイワンホトギスが御覧いただけます

バショウ科の植物

タイワンバナナは、たわわに実った大きな房をつけ、ヘリコニアは薄暗い中に鮮明な色の苞葉で彩りよく咲いています。

シクラメン ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

南ヨーロッパ～小アジア西部の広域に原産。晩夏～秋、葉の展開に先立って開花します。名前の由来になったらせん状に巻いた花茎も御覧いただけます。

スイフヨウ (アオイ科)

アオイ科の低木。白花が咲き進んでピンク色に変わります。その様まるで酔っているようなので、この名前になりました。

大温室前ではハイビスカスの野生種も見ごろとなっております。併せて御覧下さい。

サミダレハギ (マメ科)

野生のハギの中では最も花が大きく、花は主に秋に咲きますが、早いものは5月ぐらいから咲き始めるので五月雨萩と呼ばれます。

カリガネソウ (シソ科)

日本各地に自生する多年草。虫が花に留まると、虫の背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。別名ホカケソウ。

フジバカマ (キク科)

日本、朝鮮、中国が原産。秋の七草のひとつです。運がよければ、渡りをするチョウとして知られるアサギマダラの訪花が見られるかもしれません。

コスモス (キク科)

11/3の開園記念日に満開を迎えるよう育成していますが、蕾をたくさんつけ、早いものは咲き始めております。

ダリア (キク科)

以前は花の進化園に植栽していましたが、森のレストランスロープ近くに移植しています。

ラッカセイ (マメ科)

地下で肥大する子実が観察できるよう、透明容器にて植栽展示しています。御一見下さい。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。6月に開花を始め、長期間咲き続けています。

